

とちぎ農産物マーケティング協会 月刊情報（22年4月号）vol.32

◆ 第15回通常総会を開催

3月29日(月)、平成22年度事業計画と収支予算(案)を審議するため、二荒山会館で、第15回通常総会を開催した。22年度は協会をとりまく環境が変化する中で、事業のより効率化・重点化を図ったもので、原案どおり承認された。

総会終了後、21年度フレッシュメイトの退任式があり、阿久津栞さんと浦田佑樹さんに伊澤会長から記念品等が授与され、ねぎらいの言葉があった。

◆ とちぎフードマイレージ削減チャレンジ実績報告会・情報交換会の開催

3月17日(水)、県庁本館6階大会議室にて、県主催により地産地消による「フードマイレージ削減」に優秀な取組で表彰を受けた企業の事例発表が行われた。この開催に併せ当協会は、県産農産物の展示説明(試食)会を東館2階生協食堂で開催し、農業関係者との情報交換会を行い、今後のフードマイレージ削減チャレンジの取組促進を資するとともに、県産農産物のイメージアップ及び販路拡大を図った。



◆ とちぎ食のコンシェルジュ産地視察研修会(那須地区)の開催



〔 にらの圃場の様子 〕

3月18日(木)、JAなすの管内にて、那須地区の宿泊施設の方を対象に「とちぎ食のコンシェルジュ産地視察研修会」を開催した。

生産者と観光客をつなぐパイプ役である旅館・ホテルの方々に、とちぎの食について生産現場や食文化等も含めて知識を広げてもらい、随所で観光客に県産農産物等の良さをPRしていただくための研修を開催した。

今回は、生産の現場(トマト・にら・うど・白美人ねぎ)4圃場を視察し、生産者から現状説明などを聞き、また、意見交換等による相互交流を図った。

那須地区の産地視察は今回が初めてで、参加者からは、「視察をして、農業へのイメージや考え方などが変わり、貴重な体験ができた。これからは、提供する食材の特徴や良さ、生産者の声を直接お客様に伝えていきたい。」と話していた。

◆ フードフェスティバル「地産地消フェア」の開催

3月24日(水)・25日(木)の2日間、東武百貨店宇都宮店地下1Fにおいて、とちぎまるごと農産物フェアと題し、フードフェスティバル「地産地消フェア」を開催した。本県の主要農産物を集め、とちぎ和牛や「とちおとめ」、旬の青果物をPRし、フレッシュメイトによる試食・販売を行い、県内の消費者に県産農産物の認知度向上とイメージアップを図った。

◆ 2010食肉産業展への参加

4月7日(水)～9日(金)の3日間、東京ビックサイトで「2010食肉産業展」が開催された。当協会では、栃木県を代表する黒毛和牛「とちぎ和牛」の展示試食会を実施した。また、新鮮な「那須の白美人ねぎ」の試食も同時に実施し、「とちぎブランド」農産物についてPRし、知名度向上とイメージアップを図った。



(社)とちぎ農産物マーケティング協会のニューフェイス



総務企画部 次長
卯柳(うやなぎ) 重光

【業務担当】

輸出促進事業
とちぎブランド推進事業
身近な“とちぎの食材”活用推進事業

～コメント～

安全・安心な県産農産物を多くの方に知ってもらえるように頑張ります。



事業推進部 次長
萩原 一則

【業務担当】

消費宣伝全般
とちぎの食でおもてなし事業
部会(果樹)活動

～コメント～

栃木の農産物の良さをたくさんの方にお伝えできるよう努力いたします。



事業推進部
マーケティング推進員
小滝 真知子

【業務担当】

県産農産物の販路拡大
農産物に関する情報の受発信

～コメント～

大切に育てられた県産農産物を幅広く知っていただけるよう想いを込めて業務担当させていただきます。

今後の予定

4月16日(金) トマト目揃会(アグリプラザ)

4月20日(火) ばら全国大会事務局員会議(アグリプラザ)

4月22日(木) 鉢物研究会役員会(コンセーレ)

4月23日(金) 栃木県洋蘭生産組合総会(ホテルニューイタヤ)

平成22年度

9代目「とちぎフレッシュメイト」大募集！！

栃木県産農産物のイメージキャラクター「とちぎフレッシュメイト」を大募集
栃木県在住で、18歳～29歳までの明るく健康な方のご応募をお待ちしています。
詳しくはHP「カラダにとちぎ」<http://www.tochigipower.com> にアクセス！！



(社)とちぎ農産物マーケティング協会(平成22年4月発送)

TEL 028-626-2150 FAX 028-643-7853

<http://www.tochigipower.com/>